

- Typhoon "Lorna", Proceedings of the UNESCO Symposium on Typhoons. 121~128.
- 4) 伊勢湾台風調査報告, 1961.
  - 5) Jordan, C.L., 1956: Reconnaissance of Hurricanes, Final Report of the Caribbean Hurricane Seminar. 122~140.
  - 6) Jordan C.L. and Fortner, L.E., 1957: Estimation of Surface Wind Speeds in Tropical Cyclones. Bull. Amer. Met. Soc. Vol. 41, No. 1.
  - 7) 大塚竜蔵, 島田健司, 1950: 昭和30年8月7日から8日にかけて鳥島西方を北上した台風第14号の経路について, 予報解析検討資料第28号.
  - 8) 大塚竜蔵, 1956: 台風眼の大きさについて, 研究時報, Vol. 8, No. 4, 239~240.
  - 9) 渋谷裕, 1960: ドップラー・ナビゲータとその現状, エレクトロニクス, 5巻12号, 1316~1323.
  - 10) 島田健司, 1959: 台風観測飛行資料による台風5811 Alice の経路の検討, 研究時報, Vol. 11, No. 3, 30~35.
  - 11) 島田健司, 1960: 九州接近時における台風第6号の中心分裂の解析, 昭和34年度全国予報技術検討会気象庁資料, 22~32.
  - 12) 島田健司, 1961: 台風の飛行観測について, 昭和35年度全国予報技術検討会気象庁資料, 62~71.
  - 13) 田村邦雄, 1960: レーダーによる台風位置決定および台風の種々の中心について, 昭和34年度全国予報技術検討会気象庁資料, 64~83.
  - 14) 田村邦雄, 1961: レーダーの台風に対する利用について, 昭和35年度全国予報技術検討会気象庁資料, 9~26.
  - 15) 吉沢正一, 1961: 島あるいは片側だけの資料による中心位置の決定について, 昭和35年度全国予報技術検討会気象庁資料, 47~60.
  - 16) 田辺三郎, 坂口啓一, 1960: 昭和34年台風15号(VERA)の台風眼および周辺の構造より見た中心勢力の変化の予想検討, 昭和34年度全国予報検討会資料気象庁資料, 128~139.
  - 17) Watanabe, K, 1951: Some Studies on Typhoons of 1949 and 1950. Part 1, Typhoon Eye. 気象集誌, Vol. 29, No. 9, 314~319.
  - 18) Yaw, R.H., 1962: On Reconnaissance Flights. 1962年地区熱低セミナー講演.

### 【啓蒙書の進歩】

気象や地学についての啓蒙書は、日本でも最近は大へん工夫した良いものが出るようになってきた。例えば恒星社の『地学教室』だが、ここには地震の科学(笠原)、雨の科学(磯野謙治)、気候の変動(土屋巖)等の格調の高いものが含まれている。

外国においても啓蒙書の進歩は著しく、文庫本や新書版で、仲々程度の高い内容のものが刊行されていて、進歩の早い他の分野の状況を知るにも大へん便利である。思いつくと、手もとにある新しいものを列挙してみよう。まずもっとも身近な Penguin Books の中には気象に関したのものとして Understanding Weather (Sutton), と The Weather (Kimble)があり、大雑把に言えば前者が物理的なのに対し後者は地理的、前者は現在理科大でゼミに使われているというが、紹介者は後者にみられる色々の工夫を買いたい。Penguin にはこの他 Venture to the Arctic (Hamilton), Man Explores the Sea (Dugan) The Face of the Earth (Dury), The Face of the Sun (Newton) があって、何れも興味をそそる。また時々不定期に刊行される Penguin の Science News の中にはいつも地学関係は一つ位テーマとしてあげられており、No. 48 のように Rocket and Satellite Research の特集をすることもある。

penguin に次いで地学の多く含まれている叢書は Anchor Books だろう、順にあげてみると The Nature of Violent Storms (Battan), Radar Observes the Weather (Battan), Water (Davis & Day), Shape and Flow (Shapiro), How Old is the Earth (Hurley) がある、また Arrow Science シリーズ中には Space Reseach by Rocket and Satellite (Boyd) があり、ミンガン大学から出ている科学叢書中には Ebb and Fow (Defant), The Sun (Kiepenheuer) があって、傍接の地学関係の様子を知るのに便利である。新書版で面白いのは Mentor Book に入っている Our Atmosphere (Loebsack), と Mainsprings of Civilization (Huntington) であろうか、IGY をとりあつた The World in Space (Marshak) の原本は訳本より安いし、Assault on the Unknown は科学ジャーナリスト Sullivan の書いた460頁の大作。この他 Weather (Lehr 編), Between Earth and Space (Orr.) Weather (Whitney), など良い本であり、ロシア語を英訳したものの中には Meteors (Fedynsky), Solar Physics (Severny) などすぐれたものがある。1958年のクリスマス・レクチュアをまとめた The World Around Us (edg Sutton,) や Meteorology for Glider Pilots (Wallington) はいづれも名著と言えよう。(根本順吉)